

令和3年度第2回学校運営協議会 議事録

1 日時 令和3年7月9日（金）13：30～15：50

2 場所 湖南高等学校 図書室

3 参加者

委員（敬称略・順不同）

小山 伝一郎、佐藤 忠男、大内 紀男、満田 仁一、鈴木 勝美、和田 祐樹、二瓶 正仁、
酒井 祐治

事務局

渡辺 延幸、遠藤 潤、木村 清志、森 修、伊藤 恵美、大山 洋子

4 内容

◎講演会 13：30～

『故郷と魅力、そして次の世代へ ～観光という名のまちづくり～』

合同会社FRONTLINE代表 東京国際大学講師 前 好光 氏

(1) 第1章 人が減っている

(2) 第2章 観光が騒がれている

(3) 第3章 観光を分解しよう

(4) 第4章 提案にかえて

(5) 質疑応答

- ・前先生が湖南の地域活性化に携わって約3年だが、できると考えていることは何か。
→自然や資源など湖南の良さが外部に伝わっていないが、湖南に来るとその良さは伝わる。湖南を訪れるルートや流れをつくるのが重要だと思う。
- ・地域が高校生と一緒に活動することは、湖南の情報発信の点からも、地元が良い方向へ引っ張られると思う。
- ・前先生の経験の中で、何度も訪れたい観光地には何があるのか。
→①その地域がもっている資源の魅力②それらを伝えるたり解説したりできる人や再訪

したいと思わせる人の力、がある

- ・地元では当たり前になっている湖南の資源理解を深化させるためにはどうしたらよいか。
→日常的に「これは綺麗だよね」「ここがこう変わったらいいのに」というような話を観光協会中心に進めていくことがよい。
- ・我々が湖南の資源に気づいていないというのが一番の問題だと思う。
- ・湖南のことを考えてくださる地元の方々が地域のあちこちにいるが組織化されていない。体制づくりのコツはあるのか。
→茨城県の筑西市では、官民一体となっている。事務局は行政が担い、観光協会や地元のNPO、地域起こし隊、地元の銀行が加わっている。旅行業者や大学も連携している。重要なのは地域の人たちだけで話をさせないで、他者の目を入れることだ。

◎学校運営協議会 15:25～

(1) 開会のことば 満田 仁一副会長

(2) 会長あいさつ 小山 伝一郎会長

講演会に引き続き協議会もよろしく申し上げます。前先生にご相談しながら、湖南の発展になるように活動していきたいと思っております。今後ご指導よろしく申し上げます。

(3) 校長あいさつ 酒井 祐治校長

前回の協議会で話題にした「郷土料理を学ぶ」については、6月に「ちまき作り」を行うことができました。7月には第2弾として「味噌あげ」を実施します。去年に引き続き「蕎麦プロジェクト」は行います。

先日、「湖南地域ホームステイ制度」を考えるワーキンググループが実施されました。学校と地域はどのような生徒を集めたいのか、湖南高校をどのようにしたいのか、どのように学校の魅力化を図るのか、とのご意見をいただきました。高校としましては今後も魅力ある・特徴ある学校作りをしていきたいと考えております。令和5年度からは、教育課程に「観光ビジネス」を取り入れます。この科目を通して生徒が主体的に活動できるようになればと思っております。

(4) 報告

①学校からの報告

●六次化産業化「蕎麦プロジェクト」

- ・メイン活動の「蕎麦プロジェクト」は1～3学年全員で取り組む。7月30日にそばの種蒔きを予定している。収穫やそば打ち体験の流れを全校生徒で実施する。
- ・六次化商品

そばの商品開発に向けて、「そばの種・そばケーキ」と「そば団子・そばチュロス」の開発・調理を行った。今後は「そばケーキ」と「そば団子」を地元企業と開発していく。イベントなどで商品を販売していきたい。

●古民家再生

福良地区の古民家をリノベーションしている。湖南の情報発信の場所にしていきたい。日大工学部生とのワークショップや意匠研究を考えている。

●湖南高校応援隊「ここおた」

・地元の方に協力いただきながら、「蕎麦プロジェクト」「6次化」「古民家再生」を進めている。

・現在、ボート部は猪苗代湖でも練習している。安全の面からモーターボートがあったらと地元の方に相談していたところ、ご厚意でモーターボートを無償で譲っていただいた。ありがとうございました。

●学校行事の連携「イベントに行ったり来たりしませんか」

・郷土料理を学ぶ

地元の郷土料理研究家の菅野 洋子さん、渡部 幸子さん、西田 忍さんを講師に迎え「ちまき作り」を行った。以前にも増して、地元の方々には高校に来ていただき、生徒の学びのためにご協力いただいている。

●湖南地域ホームステイ制度を考えるワーキンググループ

・学校運営協議会からの要請を受けてワーキンググループが立ち上がった。本校の魅力化や生徒が来たいと思う学校・地域作りを考えた話し合いをした。下宿制度の成果や課題を熟議した。

②その他

・7月26日は中学生1日体験入学が行われる。本日現在、参加希望者は生徒23名、保護者14名、教員1名。

・地元の盆踊り保存会から、生徒に大太鼓を体験してほしいとの依頼があった。

(5) 閉会のことば 満田 仁一副会長

※ 諸連絡（遠藤教頭）

昨年度同様、今年も湖南高校だよりは湖南町の全戸に配布します。

次回、第3回は10月15日です。よろしく願いいたします。

(15:50 終了)